

Going Green

## EcoDesign 2005:

### 第4回環境調和型設計とインバース・マニユファクチャリングに関する国際会議

グローバル製造時代における、エコデザインに向けた社会システム、ビジネス戦略、技術の統合

#### 講演募集のご案内

### Call for Papers

2005年12月12日～14日  
東京 学術総合センター 一ツ橋記念ホール

主催 エコデザイン学会連合

In cooperation with (予定)  
IEEE CS TCEE, USA  
CARE Electronics, Europe

## スコープ

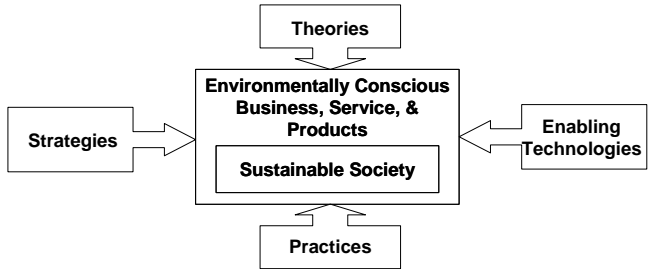
「EcoDesign 2005: 第4回環境調和型設計とインバース・マニュファクチャリングに関する国際シンポジウム」を2005年12月12日～14日に東京で開催致します。このシンポジウムは我が国のエコデザイン学会連合が主催するもので、副題の“Going Green”は、米国のIEEE International Symposium on Electronics and the Environment、欧州のCARE/Electronics Goes Green、および我が国のEcoDesignシンポジウムが共通で使用しているものです。前回のEcoDesign 2003は、欧州、米国、アジア諸国から300名以上の参加者、180件以上の講演を集め盛会のうちに終了しました。

## EcoDesignの新しいステージ

EcoDesignは、環境調和型の社会システム、ビジネス、サービス、製品の開発と展開を通じて持続可能な社会の構築を目指すものです。EcoDesignは様々な国の法制度などにより強力に推進されつつありますが、一方で製品・サービスシステム、サービス化に代表されるような革新的な環境調和ビジネスはまだまだ期待されたほどには広がりを見せていません。この状況を一歩進めるためには、俯瞰的な視点からの問題把握と明確な戦略の下で種々の要素技術を調和させることが必要となります。EcoDesign 2005では、環境調和型設計、実現化技術、ビジネス、社会システム、インフラストラクチャー、ライフサイクル・マネジメントなどのトピックスを包含しています。

特に今回のシンポジウムでは二つの特別テーマ、「社会システムのエコデザイン」と「アジアにおけるエコデザイン」に焦点を当てます。前者は、これまでの種々のエコデザインの活動にも関わらず依然として地球環境問題は悪化しているという我々の認識によります。そのため、個々のエコデザインの活動に加えて、様々なエコデザイン行動を持続可能な社会システムの設計に向けて統合化することが必要と考えます。「アジアにおけるエコデザイン」は、アジアにおける急速な工業化、市場の拡大、生活水準の向上が持続可能性のための「かなめ」になりつつあり、そのためエコデザインの大きな課題になっているということから選びました。

EcoDesign2005では、ここに挙げたトピックスの四つの側面、すなわち、実践、理論研究、戦略、実現化技術に関連する講演を広く募集します。技術的視点のみならず、社会的、法的、経済的、文化的視点からの講演を歓迎致します。EcoDesign 2005において、様々な国々の様々な分野の参加者が、これら四つの側面をつなげてゆくような議論と情報交換を行う場を提供したいと考えておりますので、奮って講演のお申し込みください。



## 講演募集トピックス

シンポジウムのメイントピックスは以下のカテゴリーに分けられています。特に、今回のシンポジウムでは、「**社会システムのエコデザイン**」、「**アジアにおけるエコデザイン**」の二つのメインテーマ(Special Theme)を設定しました。これらのテーマに関連する講演を特に募集致します。

本シンポジウムは、実践的な事例と新しい理論研究の両方を対象としており、分野も限定せず、電気電子機器、自動車、重機、工作機械、建築物、都市インフラ、社会など広い範囲を募集対象としています。

### 1) 社会システムのエコデザイン [Special Theme]

持続可能な社会を築くための、社会システムの設計、評価、マネジメント

### 2) エコライフスタイル

顧客行動の分析と評価、および、環境調和型ライフスタイルを達成するための新しい手段

### 3) 持続可能ビジネス

環境負荷を削減するための、ビジネスの開発、設計、評価

### 4) 環境調和型製品・サービス

製品、サービス、および、それらのライフサイクルの開発、設計、マネジメント、評価

### 5) 資源・エネルギーの持続可能な消費と再生

リユース、リサイクルを含む資源再生と省エネルギーのための戦略、方法論、技術

### Asia) アジアにおけるエコデザイン[Special Theme]

アジアにおける環境規制、エコデザインの実践、リユース・リサイクル、製品・素材循環など

ご講演が「アジアのエコデザイン」に関連する場合、Abstract Submission Form において、上記5つのカテゴリー分類に加えて、「アジア」の欄に印をおつけください。

## プログラムの概要

2005年12月12日(月)

オープニング、特別講演、通常講演

2005年12月13日(火)

キーノートスピーチ、通常講演、ポスターセッション、懇親会

2005年12月14日(水)

キーノートスピーチ、通常講演、クロージング、各賞の贈呈

2005年12月15日(木)

見学会

## Activities

### シンポジウム会場

東京 学術総合センター・一ツ橋記念ホールほか  
(最寄り駅: 地下鉄東西線 竹橋駅)

<http://www.nii.ac.jp/map/hitotsubashi-j.html>

<http://www.zam.go.jp/e00/e0000800.htm>



### 講演形式

講演の形式は、口頭講演(short)、口頭講演(full)、ポスター講演に分けられます。

口頭講演(short):

- > 講演時間 15分(質疑応答含む)
- > 論文の長さ A4 2ページ
- > A4 1ページの抽象クト

口頭講演(full):

- > 講演時間 25分(質疑応答含む)
- > 論文の長さ A4 4~8ページ
- > A4 2ページの抽象クト

ポスター講演:

- > 講演時間 25分(質疑応答含む)
- > 論文の長さ A4 2~8ページ
- > A4 1ページの抽象クト

### 表彰

最優秀論文賞 および 最優秀ポスター賞

EcoDesign 2005 で発表された論文のうち、内容的に優れた数件の論文が、国際 EcoDesign 2005 表彰委員会により、「最優秀論文賞」に選定されます(対象は、口頭講演(short)、および、口頭講演(full)の両方で

す)。また、内容と質が優れたポスターに「最優秀ポスター賞」が贈呈されます。

## イベント

懇親会を2005年12月13日(火)に開催する予定です。詳細は、アドバンスプログラムでお知らせします。

## 見学会

見学会を2005年12月15日(木)に行います。詳細はアドバンスプログラムでお知らせしますが、現在の所、以下のような見学会を開催する計画です。

Tour 1: 日本の「家電リサイクル法」がもたらしたもの 先端的家電リサイクルプラント

我が国では、家電リサイクル法に従って、2001年から家電四品目の高度なリサイクルが開始されました。これらの実践において問題となったのは？どのように問題を解決したか？これらのリサイクルシステムが「環境調和型」製品の設計に何をもたらしたか？これらをどのように改良しようとしているのか？この見学会では、諸外国でリサイクルシステムを構築するために必要な情報が得られるでしょう。

Tour 2: 我が国は環境調和型製品の分野で世界をリードしているのか？ エコプロダクツ展 2005

1999年以来、「エコプロダクツ展」は、エコプロダクトに関するアイデア、情報、意見の交換と推進の場を提供してきました。エコプロダクツ展では、「家電品」から「情報・サービス製品」まで様々な分野の300社以上の環境調和型製品が展示されています。

# 講演申込の方法

## Extended Abstractの送付

EcoDesign2005 での講演を希望する方は、Extended Abstract を 2005 年 3 月 31 日までに電子メール(ecodesign2005@ecodenet.com)でお送りください。その際、記入済みの Abstract Submission Form を必ず添付してください。

全ての Extended Abstract は、説明書とテンプレートに従い、英文で書きください。ページ数(最大 1 枚の絵と参考文献を含む)は、ご希望の講演形式によって異なります。以上の条件に適合しない申込は、不採択になる可能性があります。Abstract Submission Form と Extended Abstract のテンプレートは、EcoDesign 2005 のホームページ(<http://www.ecodenet.com/ed2005/>) からダウンロードできます。

**口頭講演(short):** 講演時間 15 分(質疑応答含む)

**A4 1 ページの Extended Abstract をお送りください**

**口頭講演(full):** 講演時間 25 分(質疑応答含む)

**A4 2 ページの Extended Abstract をお送りください**

**ポスター講演:** 講演時間 25 分(質疑応答含む)

**A4 1 ページの Extended Abstract をお送りください**

## 採否の決定

シンポジウムの質の向上のため、投稿された Extended Abstract は、国際EcoDesign 2005 プログラム委員会により査読され、口頭講演(short)、口頭講演(full)、ポスター講演での採択、もしくは、不採択が以下の基準により決定されます。この査読は、本シンポジウムが学術論文のみを採択することは意味しません。産業、ビジネス、社会の事例を記述した講演も大いに歓迎します。口頭講演(short)やポスター講演を、積極的にご活用頂ければ幸いです。

- EcoDesign 2005 のトピックスへの適合性
- 独創性
- 結果の意義
- EcoDesign 2005 のトピックスへの重要性

採否の結果、および、査読者のコメントを、2005 年 6 月初旬に電子メールでお送りします。講演申込に関するお問い合わせは、EcoDesign 2005 事務局にお願い致します。



## 使用言語

全ての講演と論文には英語を使用します。

## 論文集掲載用の論文の作成

論文集は、IEEE Computer Society Press から出版されます。論文は、A4 4～8 ページ(口頭講演(full))、A4 2～8 ページ(ポスター講演)、もしくは、A4 2 ページ(口頭講演(short))です。ページ数には、全ての図表、参考文献を含みます。論文は、2005 年 8 月 31 日までにお送りください。フォーマットなどの詳細情報は、採択通知とともにお送りします。

## 重要な日程

Extended Abstract 送付の締切	2005 年 3 月 31 日
採択通知の送付	2005 年 6 月初旬
論文送付の締切	2005 年 8 月 31 日
EcoDesign 2005	2005 年 12 月 12 日～14 日

## シンポジウム事務局

最新情報は、EcoDesign 2005 のホームページに逐次掲載されます(<http://www.ecodenet.com/ed2005/>)。お問い合わせ、ご質問等は以下にお願いします。

**EcoDesign 2005 事務局**  
**(NPO 法人) エコデザイン推進機構**  
Tel: 03-5841-1171  
E-mail: [ecodesign2005@ecodenet.com](mailto:ecodesign2005@ecodenet.com)

# **Symposium Organization**

## **Symposium Chair**

R. Yamamoto (The University of Tokyo, Japan)

## **Organizing Committee**

### **Co-Chairs (tentative)**

Y. Furukawa (Tokyo University of Agriculture and Technology, Japan)

H. Koshihbu (Green Purchase Network, Japan)

H. Griese (Fraunhofer IZM, Germany)

P. Eagan (University of Wisconsin-Madison, USA)

## **Technical Committee**

### **Chair**

Y. Umeda (Osaka University, Japan)

### **Program Chair**

K. Aoyama (The University of Tokyo, Japan)

## **International Advisory Board**

### **Chair**

F. Kimura (The University of Tokyo, Japan)

# **Symposium Organizer**

**Union of Eco-designers**

## **In Cooperation with:**

IEEE CS TCEE, USA

CARE Electronics, Europe